

女流義太夫普及公演

ぎだゆう座

偶数月の
一日・二日は
ぎだゆう座

四月公演 親と子

二〇二四年 四月一日(月)・二日(火)

解説 〔一日〕鶴澤津賀花 〔二日〕竹本寿々女

〔一日〕

一谷嫩軍記 組討の段

浄瑠璃 竹本 綾一 三味線 鶴澤 弥々

〔二日〕

傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段

浄瑠璃 竹本 土佐恵 三味線 鶴澤 駒清

近江源氏先陣館 和田兵衛上使の段

浄瑠璃 竹本 越里 三味線 鶴澤 駒治

傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段

浄瑠璃 竹本 土佐恵 三味線 鶴澤 駒清

◎ところ お江戸上野広小路亭 TEL03-3833-1789

JR 山手線御徒町駅下車徒歩3分 東京メトロ地下鉄銀座線・都営大江戸線上野広小路駅 A4 出口すぐ

◎開演 午後6時半(開場6時)

◎入場料 前売り2000円 子ども1000円 当日2500円

◎お申し込み (Email) jyogi.gidayuza@gmail.com

◎お問い合わせ (一社)義太夫協会 TEL03-6264-3047 <https://www.gidayu.or.jp>

◎主催 ぎだゆう座 ◎共催 永谷商事



【1日】一谷嫩軍記 組討の段

平山武者所を追って須磨浦へやってきた平敦盛は平山を見失い馬で海に乗り入れようとしています。そこへ源氏方の熊谷直実が追ってきて勝負を挑みます。刀での勝負はつかず素手での組み合いになり、熊谷が敦盛を組み敷きます。死ぬ覚悟はできているが、せめて亡骸を父・経盛のもとへ送り届けてほしいと言う敦盛の様子に心打たれた熊谷は、殺すにしのびず、一度は助けようとしています。しかし、逃がそうとするところが平山に見とがめられ、泣く泣く敦盛の首を落とします。

【2日】近江源氏先陣館 和田兵衛上使の段

源頼家の軍師佐々木高綱は、弟の実朝方の兄盛綱に攻められ、高綱の一子小四郎が盛綱の子小三郎に捕えられ縄をかけられます。盛綱の陣所は小三郎の手柄に沸きかえっていますが、老母微妙にとっては、小三郎も小四郎も孫、複雑な心境です。

そこへ頼家方の和田兵衛が、小四郎返還を求める使者としてやってきます。時政から預かった囚人を渡せないと盛綱がはねつけると、和田兵衛は、時政に直談判すると、石山に向かうのでした。

【1日・2日】傾城阿波の鳴門 十郎兵衛住家の段

阿波徳島玉木家のお家の重宝「国次」の刀が盗難にあいます。この刀の探索の為、家臣十郎兵衛は銀十郎と名を変え、妻お弓とともに盗賊に身をやつして大坂で暮らしています。

ある日、順礼の子が家の前に立ちます。お弓は順礼の子が阿波から来たと聞いて、引き留めて話を聞きます。順礼の子は郷里阿波に置いてきた一人娘のおつると判りましたが、今の身の上では名乗ることもできず、おつるに国へ帰ることを勧め、泣く泣く追い返すのでした。しかし、今、別れてはもう二度と会うことが出来ないと思い直し、おつるの跡を追います。

《お客様へのお願い》

- * 会場備え付けのスリッパは使用できません。
必要な方はご持参下さい。
- * マスクの着用を推奨しております。
- * 37.5℃以上の発熱のある方、それ以外でも咳・痰の症状があるなど体調の悪い方は来場をお控え下さい。
- * 演奏中の許可のない撮影録音はお断り申し上げます。